

きららとちぎ

2020年度開催 とちぎ市男女共同参画セミナー

場所 市役所3F正庁

時間 14:00~15:30

～あなたの自分力UPを応援します～

★新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新しい生活様式が定着してきました。

3密回避・マスク着用・ソーシャルディスタンスに配慮しての学びの場です。

★2021年度も充実した講座を用意しますので是非ご参加ください。

講話

9月17日(木)

「みんなに優しい 避難所づくり」

とちぎ男女共同参画財団主査 芳村 佳子さん

◎女性・子ども・高齢者に配慮した、安心できる避難所設営体験

{ 段ボールベッド、テント、
間仕切り、更衣室、
授乳室、トイレ }



講話

10月5日(月)

「人生の折り返しを よりよく生きる」

栃木市 福祉総務課長 首長 正博さん

◎エンディングノートを書くことが最終目的ではなく、今後の人生をどう生きるかを改めて考える。
幸せな老後の3Kは健康(心も体も)・経済・絆(生きがい・仲間)



講話

12月1日(火)

「DVについて 女性と子どもへの影響」

認定NPO法人 ウイメンズハウスとちぎ

藤平 裕子さん

◎DV被害の実態・DVとさまざまな暴力・女性、子どもへの影響・DVのない社会のためにできること



(受講生の感想・意見)

- ・男女共同参画の視点に立った防災の計画、避難所運営の必要性を感じた。
- ・「きょういく=今日、行くところがある」「きょうよう=今日、用がある」「ふくし=普通の暮らしができる幸せ」等の言葉の意味を知り、実践していきたいと思った。
- ・DVについて改めて考えさせられた。DVへの理解がまだ足りなかったと実感した。



栃木市
マスコットキャラクター とち介



男女共同参画社会

研修会 ～あなたの力を地域の活動支援に生かしませんか～

8月18日(火) 栃木市女性団体連絡協議会主催で、研修会を開催しました。
講師は、川津美知子さん、寺内政子さんです。

子どもが入園し、子育てとPTA活動が主流を占めていた頃は、地域社会に一歩踏み出す勇気もなかったのです。友人の勧めで、夫を始め家族の協力のもと栃木県女性教育指導者研修会に参加したことが活動のきっかけになりました。その後、自らの意思で新潟市開催の日本女性会議に参加したことを皮切りに、平成8年には県主催女性の海外研修に参加しました。

それからは、機会あるごとに県や市主催の研修会に臨むようになり、現在の活動に繋がっています。男女共同参画についての学びの場があったからこそ行動に移せる今の自分があります。



川津 美知子

2004年、「栃木県女性の海外研修」に参加。翌2005年、県より男女共同参画地域推進員の委嘱を受け、以来、推進活動を行っています。

仕事で培ったノウハウを生かして、腹話術による啓発活動を行っています。小学校・自治会・公民館・いきいきサロン・介護施設・各種イベント会場・各種団体等、様々な場所で活動しています。行政とも連携し情報共有にも心がけています。台本作りには大変苦労しますが、分かり易く伝えること、身近な話材を取り入れ、ユーモアがあり、明るく笑顔があること、見る人聞く人が何を求めているか等、工夫しています。



男女共同参画社会の実現のため、今後も、分かり易く・明るく・楽しく、笑顔で啓発活動を行っていきたいと思います。

寺内 政子

男女生き生き地域活動表彰

県内で男女共同参画活動を推進する、4事例の表彰式が9月3日県庁で行われました。
栃木市から「子育て情報誌」を通して地域活動をしている松本真由美さんが、優秀賞を受賞しました。

栃木市の子育て情報を発信するフリーペーパー「TOCHICO日和(とちこびより)」を軸にした活動を始めて5年。大きなステップとなりました。

私は栃木市で育ち、結婚をし、3人の子どもを育てています。地元の私でも、初めての育児は大変で、実家や友達に頼りました。

女性は出産によって生活が180度変わる事も。特に市外から嫁いできたママは、見知らぬ土地で孤独な育児をしている人が多いことを知ったのが、この活動を始めたきっかけです。

栃木市で育児をするママ達が、安心して子育てを楽しめるよう、そして街と子育て世代を繋げるきっかけ作りができるよう、これからも活動を続けていきたいと思っています。 松本 真由美



の実現のために



政治における女性の活躍について

小堀良江市議会議長に伺いました



Q1 市議会議員への立候補の動機をお聞かせください。

女性が仕事をしながら出産・子育て・介護に携わる中で、まだ働きにくい環境があると感じておりました。そこで、市政にその声を届け、改善したいとの思いで立候補を決意しました。

Q2 議員になって、よかった点、苦労した点は何ですか？

市民の方から様々なご相談がございます。ご相談いただいた事が、改善に繋がったときは良かったと心から思います。苦労した点は、小さな悩み事はあるのですが…苦労のうちに入るのか？ というところです。

Q3 議員として、現在力を入れて取り組んでいるところはどのようなことですか？

これまでも現在もこれからも同じですが、市民の皆様の声に耳を傾け、活力があり、安心して安全な街を構築していくには何が必要かを考え、その実現のために取り組んでいきたいと思っております。

Q4 女性議員を増やすために、どのようなことが必要だと思われませんか？

女性の政治参画への意識の向上と支援する仕組み、環境が必要だと思います。

Q5 女性議員として、男女共同参画についてどのようにお考えですか？

共に形成し、平等に参画の機会が与えられ力を発揮することができる社会でなければならないと思います。その中で、女性ならではの視点や考えが十分に反映される社会が求められていると思います。

2019年「ジェンダー・ギャップ指数」日本が110位から121位へ (153か国中) なぜ日本はランキングが低いのか？

グローバル・ジェンダー・ギャップ指数とは、世界経済フォーラムが毎年発表している、世界男女格差指数です。153か国を対象に、政治・経済・教育・健康の4部門について、男女にどれだけの格差が存在しているかを分析してスコア化し、そのスコアを元に各国の男女平等の順位をつけます。

【日本のGGGI推移グラフ 2010年～2019年】

年	調査国数	総合		政治		経済		教育		健康	
		ランク	指数	ランク	指数	ランク	指数	ランク	指数	ランク	指数
2019	153	121	0.652	144	0.049	115	0.598	91	0.983	40	0.979
2018	149	110	0.662	125	0.081	117	0.595	65	0.994	41	0.979
2010	134	94	0.652	101	0.072	101	0.572	82	0.986	1	0.980

日本は教育・健康の部門では上位を示しておりますが、政治・経済の部門では、世界の中で低い状況です。政府は、2003年、「社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%にする目標」を掲げました。先進国のほとんどは、2000年代に、30%台を達成しましたが、日本はほとんど変わっていません。女性管理職30%は、どこへ行ったのでしょうか？ クォータ制(数字割当制)の導入についても、なかなか進んでいません。

いま私たちにできることは、根強く残る固定的な性別役割分担意識の払拭、女性の活躍の場を増やすことなど、一人ひとりが男女共同参画社会の実現を目指して、行動していくことではないでしょうか？

男女共同参画標語コンテスト最優秀賞作品（敬称略）

小学5年生、応募総数120点、中学2年生、49点の中から、次の2点が最優秀賞に選ばれました。

小学5年生の部 一人一人がかがやける 産まれたことが宝物

松尾 美咲（西方小）

中学2年生の部 切り拓く未来 自分らしく生きる社会 そして輝く個性を

小林 璃俐（岩舟中）

栃木市パートナーシップ宣誓制度を開始しました（11月1日施行）

栃木市は、「栃木市人権施策推進プラン」の基本理念に基づき、市民一人ひとりがお互いを認め合い、それぞれの夢をかなえることができる笑顔あふれる栃木市として、全ての市民の人権が尊重される社会の実現を目指しています。

その取り組みの一つとして、パートナーシップ宣誓制度を始めました。これは、性的マイノリティの皆さんが、自分たちの存在を認めて欲しいとする気持ちを受けとめる取り組みの一環として、2人が人生のパートナーであることを栃木市長に宣誓し、証明書を交付する制度です。

研修会 「多様な性と人権」

11月14日（土） 吹上小学校にて

「多様な性の視点から、人権を考える～『その子らしさ』をまるごと尊重する子育てを考える～」をテーマに、LGBTの家族と友人をつなぐ会 中島 潤さんを講師に招いて研修会が行われました。

（受講者の感想）

- ・「ふつう」と言われてるものには名前はない。そういうことにさえ気が付かずに生活していたので、知ることができてよかった。
- ・貴重な話を聞くことができて考え方が変わった。子どもたちにも教えていきたいと思った。
- ・本当に有意義だった。もっとたくさんの人に知ってもらいたいと思った。
- ・先生の実体験が心に響いた。自分の中でLGBTに関する理解が深まった。



DVIに悩んでいるあなたへ 相談してください

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、配偶者や交際相手など親密な関係にある男性から女性へ（女性から男性へ）の暴力をいいます。

DVで困ったときは、ひとりで悩まず、ご相談ください。

栃木市配偶者暴力相談支援センター	TEL 0282-21-2218
栃木警察署	TEL 0282-25-0110
とちぎ男女共同参画センター相談ルーム	TEL 028-665-8720
認定NPO法人 ウイメンズハウスとちぎ	TEL 028-621-9993
サバイバルネット・ライブ	TEL 0285-24-5192



女性に対する暴力根絶のための
シンボルマーク

編集後記

今回11号を発行いたします。

今後も真の男女共同参画社会づくりに向けて、努力していきましょう。



編集／きららとちぎ編集員（栃木市男女共同参画地域推進員）

発行／栃木市生活環境部 人権・男女共同参画課 〒328-8686 栃木市万町9番25号 TEL 0282(21)2162 FAX 0282(21)2692

※氏名については、敬称略で表記しました。